

Hello. ¿Cómo estás? Je vais bien. 言うわけで第三回報告書始めます。

突然ですが質問です。あなたのお友達はどの様な人ですか？優しい人？食べるのが好きな人？怒ると何を言っても無視をする人？男性？女性？..... などなど色々なお友達をお持ちだと思います。しかし1つ共通していることがあります。それは大体が日本人ということです。中には国際交流が大好きでお友達の半数位が日本人ではないという方もいらっしゃるでしょう。しかし、そういう方々は少数です。僕自身小さい頃から英会話教室に行ったりし、ある程度日本以外の国と関わってきたつもりですが残念ながら旅行先(Los Angeles)で相席したフランス人意外ははっきりと友人だと言えるような人はいません。なぜ僕が日本にいた頃に日本人では無いお友達ができなかったのでしょうか。理由は簡単です。まず、僕の住んでる旭川では観光客以外の外国人は珍しいため会うチャンスが無いのです。東京や静岡などには東南アジアの国々出身であったりブラジル出身である人が結構いるらしいですが僕が生まれ育った街は東京の街でも静岡の街でも無いです。また、この内容の報告書を書くために一応ある程度の知識をつけておくためにググったのですが、どうやら日本にいる人の95%は日本国籍らしいです。しかし、仮に僕のお友達が100人いたとして5人も日本国籍でないお友達いるのでしょうか。おそらくないでしょう。またここで1つ考えなくてはいけないことがあります。「日本人」とはなんでしょう。日本以外の国で生まれ日本以外の国で育ち母国語は日本語でない人も日本で帰化すれば完全に「日本人」です。と、いうわけで最早誰が日本人で誰が日本人で無いのかがよく分からなくなってきました。合わせて、日本人のルーツであったり色々調べてみると日本に住んでいる人間は大陸から来たのか、または別の場所から来たのか本当に面倒くさい話になって来ます。それはここUSAでは特に顕著で、アメリカは皆様が小学校中学校と社会の時間でお勉強した通り「人種のサラダボウル」なわけです。ですから、アメリカ国籍のアメリカ人かと思えば「スペインから来ました(×)」、「コンゴから来ました^^」みたいな事がたくさん起きるのです。また、英語が本当に下手くそで何言ってるか全く聞き取れなくても「パパがアメリカ永住権の抽選当たったから僕アメリカ人だよ」みたいな事も簡単に起きます。もう何が何だかさっぱりです。

そんな感じで〇〇人と括るのは国際化、国際化と叫ばれている今の世の中では時代遅れなのかもしれません。この様な事は日本にいた頃には「マジクソどうでもいいわ」って思っていました。結構重要なのかもしれません。僕がこの様な崇高なトピックを考える様になったのも若いうちに海外での生活をする事ができたからです。

と言うわけで今回は食などから離れてちょっと頭の良さそうな事について書いてみました。どうでしょうか。アメリカ生活楽しそうでしょうか?????2ちゃんねるなどで言われてる「留学はきつい」、「便所飯不可避」なんか都市伝説です。興味がなくても絶対いい経験になるため学生は行くべきですね。

と、言うわけで今回の報告書を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。:)

Taisei Walter Okazaki